

令和6年3月 4日

保護者の皆様

青森県立青森聾学校
校長 大坂 充

令和5年度 学校評価結果の概要のお知らせ

早春の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に深い御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、昨年12月に実施いたしました「学校評価の結果の概要」が下記のようにまとまりましたので、お知らせいたします。

学校評価の流れにつきましては、これまでと同様に、児童生徒、保護者に対するアンケート（学校・寄宿舎）を行い、その結果を踏まえ、教職員の自己評価を実施しています。また、2月に学校運営協議会において行われました学校関係者評価の結果も同時にお知らせいたします。

記

1 学校評価の結果概要

(1) 児童生徒アンケート

①評価項目 11項目（学校及び学校生活について、授業について、先生について、学習態度・習慣について）

②評価 「はい」または「いいえ」等の2者択一（10項目）、記述（3項目）

③回収率 100%（幼児を除き14名）

④結果

	評価項目	回答
1	学校が好きか。	はい：13名 いいえ：1名 はいの理由（ワード）：友達、先生、好き
2	わかる授業がいくつあるか。	1…1名、2…2名、3…2名、4…1名、5…1名、10以上…5名、未回答…2名
	どんな授業がわかる授業かの理由。	・先生と1対1の授業は分かる。 ・黒板が見やすい授業はわかりやすい。 ・わからない時に質問することができる。 ・数字を足したり引いたりするのが好き。・算数の計算が好き。 ・音楽や国語や社会や算数が好き。・英語、社会、理科がわかる。 ・国語と英語がわかる。 ・わかりやすく教えてくれるから。 ・わかりやすいようにやり方を教えてくれたり、くわしく教えてくれるのでわかりやすい。
3	教科書以外の本やインターネットなどを使って勉強することで授業がわかりやすくなったか。	はい：11名 いいえ：2名 （未回答1）
4	授業でわからないことがある時、先生に聞くことができるか。	いる：14名、いない：0名
5	授業でわからない時、先生は気付いたり、わかるかどうか確かめたりしてくれるか。	はい：13名、いいえ：1名
6	宿題をきちんとやるよう先生は指導してくれるか。	はい：12 いいえ：1名 （未回答1）

7	宿題以外の学習をするように、先生はすすめたり、その理由を説明してくれるか。	はい：14名、いいえ：2名 (未回答1)
8	給食や舎食での食事のマナーや栄養など食に関するメモは分かりやすいか。	はい：13名、いいえ：1名
9	あなたや周りの友達はいじめを受けていると感じることはあるか。	はい：0名、いいえ：14名
10	避難訓練を行うことで避難の仕方を覚えることができたか。	はい：13名、いいえ：1名
11	健康や安全に生活するためにどうしたらいいか知ったり、実際に守ったりすることができるようになったか。	はい：12名、いいえ：2名
意見・要望		・社会人になるために必要なこと（例えば選挙権、クレジットカードの使い方、お金の払い方、スマホ料金、電気代、水道代、食材の払い方）を知りたい。

⑤総括及び改善策

ほとんどの児童生徒が「学校が好き」と回答しており、その理由として友達と過ごすことや好きな授業について挙げています。

児童生徒にとって「わかる授業」として、わかりやすい説明の他、わからない時に質問できる授業、見やすい板書を挙げる生徒がいました。「わかるかどうか」の確認と情報保障をしっかりと行い、見てわかりやすい板書を心がける必要があります。

現在、全員が「自分や周りでいじめはない」と感じていることがわかりますが、相談カード、個別の相談週間の実施に限らず、引き続き全職員で見守りを継続していく必要があります。

(2)保護者アンケート

【学 校】

① 評価項目 18項目（学習指導、生活指導、進路指導、PTA活動、安全・健康管理、環境・美化、学校徴収金の管理等に関する項目）

②評 価 4点満点

(4：そのとおりである 3：おおむねそのとおりである 2：やや違う 1：違う)

③回収率 100% (17名)

④結 果 ア 各項目の平均値の最高 3.6 (R4年度：3.8)

イ 各項目の平均値の最低 3.1 (R4年度：3.5)

ウ 全項目の平均値 3.3 (R4年度：3.5)

⑤意見・要望

- ・PTA活動への参加が少ない。協力体制を強化したい。
- ・学校徴収金を口座振替にしてほしい。
- ・昼休みの見守りについて。
- ・保護者への連絡を早めにしてほしい。

⑥総括及び改善策

全項目の平均値は3.3であり、「おおむねそのとおり」以上でした。

項目5「学校の様子を分かりやすく伝えている」項目15「子どもの健康に関する家庭連絡」、項目16「給食の安全な提供と食に関する情報提供」に関する項目の平均値が3.5以上で高く、家庭との連絡及び説明が適切に行われていることが分かります。引き続き、安全・安心な学校であるよう学校での様子を丁寧に伝えていくようにする必要があります。

一方、3.1と低かった項目は11「進路指導や進路情報」、12「いじめ防止と早期発見」17「PTA活動」でした。進路については、現場実習報告会を当該学部以外の保護者にも案内するなどして、新しい取組を始めた所でしたが、保護者がどのような進路情報を求めているのか把握する必要がありますと考えます。また、いじめ防止については、昨年度からいじめ防止委員会を年3回に増やし、いじめ防止専門員と学校の様子を共有して助言をいただき、全職員で共通理解をして取り組んでいます。学校の取組が保護者に十分に伝わっていないのではないかと考えられます。自由記述に2名の方からPTA活動への参加者が少ないことが挙げられていました。

【寄 宿 舎】

①評価項目 14項目（生活指導、安全・健康管理、環境・施設設備、帰省帰舎・緊急時の対応、徴収金の管理等に関する項目）

②評 価 4点満点
(4:そのとおりである 3:おおむねそのとおりである 2:やや違う 1:違う)

③回収率 100% (10名)

④結 果 ア 各項目の平均値の最高 3.7 (R4年度:3.8)
イ 各項目の平均値の最低 3.4 (R4年度:3.5)
ウ 全項目の平均値 3.5 (R4年度:3.7)

⑤意見・要望

・特になし

⑥総括及び改善策

全平均が3.5と全体的に高評価で、「子どもに合った指導」、「子どもの様子に関わる分かりやすい説明」、「基本的生活習慣の指導」「子どもが積極的に参加する行事や余暇活動」、「徴収金等の説明」の項目が高かったです。これからも帰省・帰舎時の送迎のタイミングでの丁寧な説明や連絡帳の活用を継続して、保護者との連携を図っていくことが必要と考えます。

やや低かった項目は、「楽しい寄宿舎生活」「悩み事の相談」「安全な環境」でした。寄宿舎では毎日部屋担当がいる訳ではないため、相談しやすいような信頼関係づくりを今後も継続していきます。安全な環境づくりに関しては、寄宿舎の取組を寄宿舎だより等で発信していくことも考えられます。

(3) 自己評価

【学 校】

①評価項目 28項目（指導力向上について、支援計画や指導計画について、キャリア教育について、センター的機能について、学校運営について）

②評 価 4点満点
(4:そのとおりである 3:おおむねそのとおりである 2:やや違う 1:違う)

③回収率 100% (23名)

④結 果 ア 各項目の平均値の最高 3.8 (R4年度:3.8)
イ 各項目の平均値の最低 2.9 (R4年度:2.8)
ウ 全項目の平均値 3.4 (R4年度:3.3)

⑤意見・要望

・アンケートをデジタル化するとよいのではないかと。

⑥総括

ほとんどの評価項目において、自己評価平均が3（おおむねそのとおり）以上でしたが、「キャリア・パスポートの活用」に関する項目、「多忙化解消に向けた業務改善」は2.9でした。

「キャリア・パスポートの活用」に関しては、昨年度の学校評価を受け、年度当初に進路指導部が中心となって全職員で共通理解を図ってスタートしましたが、活用の仕方等について調査し改善策を検討することが必要と考えます。

「多忙化解消」に関しては、年1回2学期に業務改善について職員から出された意見を学部主任会議で検討し、改善できそうな所から共通理解を図って改善に努めています。就労促進センターが昨年度末で閉鎖し、これまで担っていただいていた細かい業務が今年度から依頼できなくなったことが要因の一つと考えられます。業務改善の見直し方について職員から意見を募り次年度に向けて検討していきます。

また、「意見の相違があっても協力し合っている」の項目が3.0、「仕事と生活の両立ができるよう職員間で助け合っている」が3.2とやや低かったことから、職員間で互いの立場を認め合い、協力し合って働きやすい職場環境づくりを目指す必要があると考えます。「センター的機能」「安全な食の提供」「ICT」「学校安全」「いじめ」「研修」に関わる項目は自己評価平均が高くなっています。

【寄宿舎】

①評価項目 25項目（指導力向上について、支援計画や指導計画について、キャリア教育について、センター的機能について、学校運営について）

②評価 4点満点
(4:そのとおりである 3:おおむねそのとおりである 2:やや違う 1:違う)

③回収率 100%（9名）

④結果	ア	各項目の平均値の最高	4.0 (R4年度: 3.9)
	イ	各項目の平均値の最低	3.3 (R4年度: 3.0)
	ウ	全項目の平均値	3.6 (R4年度: 3.4)

⑤意見・要望

・特になし

⑥総括

寄宿舎職員の自己評価では、全評価項目において平均が3（おおむねそのとおり）以上であり、全体の平均値が3.6と高い傾向にありました。

高かった項目は「安全な給食・舎食の提供」「職員の研修機会の確保」に関する項目が3.9以上でした。また、「生活に関する知識・技能を習得できるような指導」が3.8とほぼ全員が生活に関する子どもたちの知識・技能を育成できるよう意識して指導していることが分かります。

やや低かった項目は「情報保障・ICT」「保護者への教育活動のねらいの説明と連携」「多忙化解消」「職員間で意見の食い違いがあっても協力し合う」が3.3でした。「情報保障・ICT」に関しては、寄宿舎でICTを活用する機会があまり多くないことが挙げられます。「多忙化解消」「職員間で意見の食い違いがあっても協力し合う」については、学校の自己評価でも低かった項目です。互いの立場を認め、協力し合って働きやすい職場環境づくりを目指す必要があると考えられます。「保護者への教育活動のねらいの説明と連携」について、帰舎帰省時の機会を活用し、引き続き保護者に丁寧に説明し、連携・協力していくことが大切です。

【学校】【寄宿舍】の総括及び改善策

学校の自己評価で3.0未満だった項目は、「キャリア・パスポートの活用」及び「多忙化解消」に関するものでした。

「キャリア・パスポートの活用」に関しては、職員の約7割が「キャリア・パスポートの活用」に課題があると感じており、その原因としてキャリア・パスポートを用いて対話的に関わることが十分できていないと考える職員が多くいました。職員のアンケート結果から、キャリア教育に係る教育活動は行われているものの「キャリア・パスポート」を十分に活用しきれていないと考える職員が多かったことから、次年度「キャリア・パスポート」の捉え方についての職員研修を計画することを検討していきたいと考えます。

「多忙化解消」に関するアンケートでは、「業務改善の見直しが行われており、進んでいる」の設問において、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた職員が80%以上でした。次年度、業務改善に向けて取り組んでいく中で、実現可能な業務の改善を検討するとともに、業務の負担を感じている部分がどこなのかも併せて検討していく必要があります。

また、保護者アンケートの自由記述にあった「PTA活動」については、参観日や高等部の販売活動と併せて開催したり、保護者に早めに日時の案内をしたりするなどして実施することを考えていきたいと考えます。

3 学校関係者評価

(1) 授業の充実について

授業参観の際に、子どもに分かる授業をしていると感じたので、さらに積み重ねてほしい。

(2) キャリア・パスポートの活用について

キャリア・パスポートを活用するのは子どもにとって良いことだと思うので、活用に関して改善する必要はあるかもしれないが、続けてほしい。

(3) 多忙化解消について

県の施策にも取り上げられてきているので、参考にしながら多忙化解消に尽力してほしい。

(4) PTA活動について

保護者の方には、ぜひPTA活動に参加し、保護者同士で交流してほしいので、出席率の向上に取り組んでほしい。

※児童生徒、保護者アンケート、寄宿舍に対する保護者アンケート、学校自己評価、寄宿舍自己評価の集計結果をホームページに掲載しますので、御覧ください。